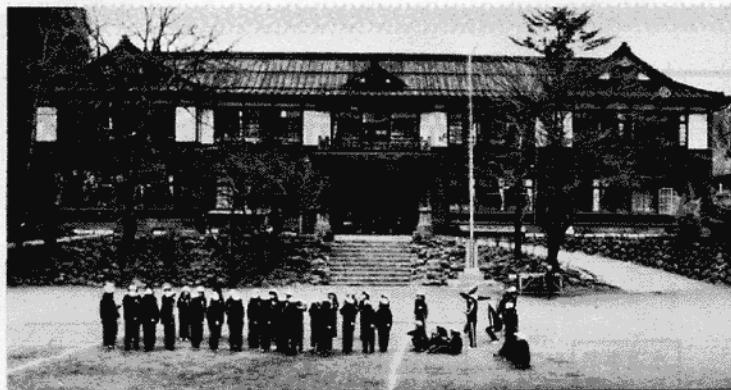


五十六年の歴史に幕

三月十九日全校児童がお別れ式

小学校
日旧



つばめの学校で全国に紹介

- ◎二十六年五月 ツバメの学校として全国に紹介され、野鳥保護により農林大臣表彰を受ける。
- ◎四十一年十月 子ども銀行が大臣賞 日本銀行総裁表彰を受ける。
- ◎四十五年十一月 学校給食優良校として、文部大臣賞を受ける。
- ◎五十年十二月 よい歯の学校表

- ◎二十九年二月 市制施行により校名を日光市立日光小学校と改称
- ◎二十九年十一月 創立八十周年記念式典を行う。子ども郵便局が日本銀行総裁表彰を受ける。
- ◎三十五年 創立八十五周年記念事業として行つたブールの建設が完成。
- ◎二十九年二月 市制施行により校名を日光市立日光小学校と改称
- ◎二十九年十一月 創立八十周年記念式典を行う。子ども郵便局が日本銀行総裁表彰を受ける。
- ◎三十五年 創立七十五周年記念式典を行う。
- ◎二十九年二月 市制施行により校名を日光市立日光小学校と改称
- ◎二十九年十一月 創立八十周年記念式典を行う。子ども郵便局が日本銀行総裁表彰を受ける。
- ◎三十五年 創立八十五周年記念事業として行つたブールの建設が完成。

五十六年にわたり地域住民の子弟の教育、あるいはコミュニティの場として親しまれた日光小学校旧校舎が、三月二十三日の終業式を最後に半世紀にわたった長い歴史の幕を閉じました。

そして、昭和五十五年七月から建設が進められていた新生日光小学校がスタートすることになりました。

日光小学校は、明治七年観音寺を借用し、鉢石学舎として開校したのが始まりですが、総二階建の旧校舎が完成したのは大正十四年。それから五十六年間、この校舎を築立つた人は約一万二千三百人を数えました。

五十六年間の歴史を紹介しますと

○大正十四年十二月 総二階建の校

- 昭和七年二月 校歌を制定する
- 十六年四月 国民学校令施行により、校名を栃木県上都賀郡日光町第一国民学校と改称
- 二十二年四月 学校教育法施行により、校名を栃木県上都賀郡日光町立日光小学校と改称
- 二十四年九月 創立七十五周年記念式典を行う。
- 二十九年二月 市制施行により校名を日光市立日光小学校と改称
- 二十九年十一月 創立八十周年記念式典を行う。子ども郵便局が日本銀行総裁表彰を受ける。
- 三十五年 創立八十五周年記念事業として行つたブールの建設が完成。
- 二十九年二月 市制施行により校名を日光市立日光小学校と改称
- 二十九年十一月 創立八十周年記念式典を行う。子ども郵便局が日本銀行総裁表彰を受ける。
- 三十五年 創立七十五周年記念式典を行う。

- 五十三年五月 学習指導充実改善の優良学校として、栃木県教育委員会より表彰を受ける。
- 五十四年五月 学習指導充実改善の優良学校として、栃木県教育委員会より表彰を受ける。
- 五十五年十月 ソニー教育振興財団より、理科教育優秀校として振興資金百万円を受ける。
- 五十六年五月 学習指導充実改善の優良学校として、栃木県教育委員会より表彰を受ける。
- 五十七年十月 ソニー教育振興財団より、理科教育優秀校として振興資金百万円を受ける。

校舎に移すことになつています。

作文つづり
別れ惜しむ

三月十九日に行われた校舎との

「お別れ式」には、全校児童六百四十五人とP.T.A.役員、先生が校庭に整列、各学年の代表が一人ずつ校舎の想い出をつづった作文を読み上げました。

そして最後に全員が校舎に向かって校歌を齊唱、古い校舎と別れを惜しました。

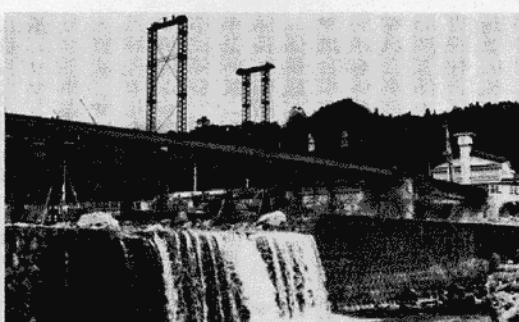
二つ目の通学用歩道橋完成は四月下旬

日光小

日光小学校の、通学用歩道橋建設工事が急ピッチで進められています。

日光小学校の通学用歩道橋は、去る五十五年三月に完成した「山内歩道橋」がありますが、この歩道橋だけでは東町地区から通学する児童にとって、山内歩道橋あるいは霧降大橋を利用するしかなく、交通安全上の問題、通学の不便などから建設が望まれていたものでした。

この歩道橋が完成しますと、東町地区の児童にとって、登下校時の安全が確保されるばかりではなく、通学をする時間も大幅に短縮されることになり、日光小学校への問題は解消されることになりました。



工事が進む歩道橋